



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

仮例会NO 5 (発行NO)
創立総会号

1990. 9. 12 (発行日)

国際ロータリー第275地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

1990 ~ 1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

— 思いを尽くし熱意を尽くし —

RI会長

パウロV.C. コスタ

≡≡≡ 【東京多摩グリーンロータリークラブ創立総会開催】 ≡≡≡



≡≡≡ 第5回仮例会報告(9/5) ≡≡≡

【創立総会】

第5回仮例会はRI第275地区秋山ガバナーを迎えて新クラブ設立のための創立総会を開催した。

とき：1990年9月5日(水)

ところ：パルテノン多摩

〔創立総会プログラム〕

第1部

◇式典

開会15:00~終了16:20

司会 拡大補佐 篠塚 武雄

開会の辞・点鐘 特別代表 由井 重光

国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」 斉唱

リガーター マイク西田

来賓紹介 特別代表 由井 重光

経過報告 特別代表 由井 重光

スポンサー会長挨拶 東京多摩ロータリークラブ会長

石坂 文夫

議事 議長 由井 重光

1) クラブ定款・細則採択の件

提案理由説明 拡大補佐 高橋 修

2) 役員及び理事選任の件

提案理由説明 拡大補佐 高橋 修
 3) 国際ロータリー加盟申請の件
 提案理由説明 拡大補佐 高橋 修
 祝 辞 第275地区がけ- 秋山 一
 " 第275地区バスター(拡大がけ) 松原 浩
 " 第275地区直前がけ- 田邊 賢三
 目録贈呈 東京多摩ロータリークラブ会長 石坂 文夫

新クラブ会長挨拶

東京多摩ロータリークラブ会長 田中 實
 閉会・点鐘 特別代表 由井 重光

第2部

◇祝賀会 開会16:30~終了18:00
 司会 拡大副委員長 中村 洋一
 開会のことば 拡大委員長 高取 渡
 祝 辞 第275地区がけ-バニー

吉田 盛次
 乾 杯 多摩東分区代理 添田 邦治
 懇 親

新クラブ会員紹介

東京多摩ロータリークラブ会長 田中 實
 ロータリー「手に手つないで」
 リンカーン マイク西田
 閉会のことば 拡大副委員長 岡野 一馬

☆御来賓・招待者ご芳名 (敬称略)

第275地区 ガバナー 秋山 一
 " バスター(拡大がけ) 松原 浩
 " 直前ガバナー 田邊 賢三
 " ガバナーノミニー 吉田 盛次
 " 地区幹事 門馬 友直
 " 多摩南分区代理 遠藤 保
 " 多摩中分区代理 篠 易男
 " 多摩東分区代理 添田 邦治
 " 多摩南分区幹事 西田 守男
 " 多摩中分区幹事 大堀 宏
 " 多摩東分区幹事 五十嵐耕司
 " 広報委員長 松沢 寅雄
 " 拡大委員長 縣 博
 " 拡大委員 堀城 克明
 " 拡大委員 有山 實
 " 東京日野RC会長 本田 密男
 " " 幹事 三上市太郎

" 東京飛火野RC会長 守屋 聡英
 " " 幹事 星野 幸夫
 " 東京府中RC会長 井上 常正
 " " 幹事 堀田 成一
 " 東京調布RC副会長 堀本 縣治
 " " 幹事 山本 征
 " 東京狛江直前分区幹事 堀田 嘉昭
 " " 副幹事 毛塚 勝
 " 東京稲城RC会長 山口 栄男
 " " 幹事 小澤 李夫
 " 東京武蔵府中RC会長 桑田 昇
 " " 幹事 加藤 道明
 " 東京狛江多摩川RC会長 栗山 博行
 " " 幹事 増田 国彦
 " 東京井頭RC会長 小野 正行
 東京南多摩ライオンズクラブ前会長 石田 敏雄
 多摩青年会議所諸理事長 小金 寿男

参加クラブ 東京八王子西RC
 東京多摩グリーンRC
 スポンサー 東京多摩RC

【創立総会抜粋】

◇ 式 典



☆経過報告 特別代表 由井 重光

本日茲に仲秋の大
 安吉日を選び、こ
 こバルテノン多摩に於
 きまして、東京多摩
 グリーンロータリー
 クラブの創立総会を
 開催致しました処、
 皆様には誠に御多
 用中にもかかわらず、R1第275地
 区秋山ガバナー始め、地区関係役員の方々の
 御臨席と近隣クラブ会長、幹事さん又スポン



サークラブの多くの会員の方々の御参加を頂いて、斯くも賑々しく盛大に開催出来ます事は、私達の最も喜びとする処であり、誠に光栄と存じます。関係者各位にかわり私から先ず以て、心より厚く御例申し上げる次第でございます。

既に御案内のように、本日の此の創立総会を迎える事が出来ましたのは、ひとえに田邊直前ガバナーの御懇篤なる御指導と秋山ガバナー、松原拡大カウンセラーの暖かい御教導の下にスポンサーを引受られた東京多摩ロータリークラブ会員各位の今日に至る大変な御努力の賜であり、特別代表として、私は皆々様の創立への御協力に対し、又拡大関係各位の特別な御努力に対し、改めて満腔の謝意を表するものであります。

さて設立に関する経過につきましては本日皆様にお配りしたプログラムの中に逐条御説明申し上げますが、それ以外の事について、1~2報告申し上げたいと存じます。

先ず多摩市は外部から見ると大変活気溢れる町に見えます。然し、スポンサークラブは増強もままならぬ現状で拡大に踏み切る事は簡単ではなく、論議のある事柄でした。然し同期の大井RCの拡大や、一昨年のクラブ20周年式典の頃から拡大が話題になり始めました。此の拡大への芽生えを篠塚直前会長は機敏にとらえ、今年の正月、ロータリーの拡大の意義を会員に訴え、続く全員協議会で「アティショナルクラブ結成」の合意を取付けたのであります。

色々意見があっても「決まった事は必ず全員で実行する」これが多摩クラブの良い処であります。今回の拡大についても見事にその実力を発揮し、その底力を見せつけて呉れました。

次に拡大の活動では、その趣旨を新会員候補の方々に御説明に歩いたのですが、A会員は、或る社長さんに説明に行った帰り、会社の出口で転んでしまいました。痛みを我慢して友人に抱えられタクシーで自宅へ、休めば楽になると思いきや、夜分の程に益々激痛がひどく、救急車で病院に運ばれました。検査の結果、大腿骨骨折で手術を受ける事になり

ました。御年77才、高齢のため経過に時間がかかっています。昨夕お伺いして「今日の席に一寸でも」とお願いしましたが果たせませんでした。「新会員の方々におめでとうと言って下さい」との伝言でした。拡大がなかったら多分A会員は入院していなかったでしょう。一日も早く快復されん事をお祈り致したいと思えます。

最後にスポンサークラブの新クラブ創立の目標は、

「明るく、楽しく、格式あるクラブ」がヴィジョンでした。その目標に向かって努力を重ねて参りました。20年前20人で親クラブは創立し、5年後に23名の稲城RCを拡大創立し、今回その弟クラブを33名で創立しました。このクラブは親クラブの何処に似たのか「自分達で出来る処までやってみる」と言って、やる気満々、大いに期待が持てます。然し、ロータリーに関しては一年生であり、是非皆々様の御指導を賜り度い。メークアップは出来るだけ新クラブにして頂いてお励ましを頂戴したいとお願い申し上げます。

本日お帰りにお手を煩わすお荷物は、グリーンロータリーというチューリップのふくよかな球根です。「ロータリーの手ほどき」によって育ててみて下さい。乞度春にはさわやかな芽を出し、やがてグリーンの葉をつけて、美しい花を咲かせて呉れるでしょう。

太陽と緑に映える町 多摩

その街角に、心のふれあう さわやかなチューリップの花を、グリーンクラブの花を咲かせ、心豊かな街造りに役立って欲しい。

そんなクラブになって頂くよう、お願い申し上げます。

☆スポンサークラブ会長挨拶

東京多摩ロータリークラブ会長 石坂 文夫
只今御紹介に預かりました東京多摩ロータリークラブ会長の石坂でございます。

本日は 275地区ガバナー秋山一様、同じくバストガバナー松原治様、直前ガバナー田邊賢三様、ガバナーノミニー吉田盛次様を始め、地区並びに分区の役員の方々、そして多くの



近隣クラブの会長、幹事の皆様、東京南多摩ライオンズクラブ直前会長、多摩青年会議所理事長他多くの方々の御光臨を仰ぎ、此処に東京多摩グリーンクラブの創立総会が開催出来ます事は、私共にとってこの上ない光栄であり、厚く御礼申し上げる次第でございます。

拡大の問題は永年論議されて参りましたが、なかなか期が熟さずして時が過ぎ去って参りましたが、今回、篠塚直前会長の御決断に依り、前年度に拡大が決定され今日を迎えたわけでございます。

本日、創立総会を迎えるに際しましては由井特別代表、高取拡大実行委員長を始めとし、会員各位の絶大なる御協力を賜り、目出度く創立総会の運びとなったわけでございます。スポンサークラブ会長と致しまして、その御苦労に対し衷心より厚く御礼を申し上げます。又、新クラブのチャーターメンバーの皆様におかれましては、私共スポンサークラブの意のあるところをお汲み取り戴き、その趣旨に早速御賛同賜り御加入戴いた事に対し、衷心より敬意と感謝申し上げます。次第でございます。

多摩市は、昭和46年11月に市政を施行しましたが、当時の人口は約4万4千人でございました。今年19年を迎えて居りますが、人口が約14万2千人で、

既存地域……………約5万人

ニュータウン地域……………約9万2千人

でございます。

特にニュータウン地域を中心に新クラブが誕生した事は、誠に意義深いものがあり、多摩市全域にロータリー思想を普及させる為のよりよき基盤が確立したわけで、この上ない喜びであります。

多摩ニュータウンについては、住宅都市整備公団、東京都等と協力態勢を取りつつ、新しい町づくりに取り組んで参りましたが、概ねハードな面は、80~90%完成に近づいております。

残されたソフト部分の中で、ロータリー思想の普及等を通じて新しい理想的な町づくりをしなければなりません。

昨今、社会奉仕、国際奉仕はもとより、各方面で地球環境の保全等が叫ばれております。それは大変大きな問題ですが、そのためには、少なくとも他人を思いやる心が必要と思われまます。

東京多摩グリーンクラブの皆様の方々の今後の御活躍によって、一層心のふれあう、思いやりのあふれた地域社会が形成されます様祈念して止みません。

終りに、東京多摩グリーンロータリークラブが明るく、楽しく、そして格調高いクラブとして発展出来ますよう、御臨席各位の格段の御協力を特にお願ひ致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

☆ 議 事 議 長 由 井 重 光

第1号議案 クラブ定款・細則採択の件

・提案理由の説明 拡大補佐 高橋 修
上程議案の内容の説明がなされた。

「特に定款はクラブの憲法である事、新クラブはこの標準定款に拘束される事。推授細則は30名位のクラブの場合には色々の問題点があるが、創立当初はこれを採用する事とし、役員理事の選挙の方法は第2案を採用する事を議事事前協議で内諾を得ているので第2回仮例会で行われた議事事前協議及第4回仮例会の席で審議された事前協議の結果に従って説明が行われ、此れを暫定として出来るだけ早い時期に新クラブの皆さんで充分検討の上決定される事を望む」

原案通り 可決確定。

第2号議案 役員及理事選任の件

・提案理由の説明 拡大補佐 高橋 修
別段の方法で選ばれた役員理事候補、役員4名、理事5名を提案

	原案通り	可決確定。
会 長	田中 實	
副会長 (会長以外)	赤尾 恭雄	
幹 事	宮本 誠	
会 計	吉原光太郎	
理 事	風間 茂徳	
”	横倉 恒雄	
”	小島周二郎	
”	永田 健作	
”	北村 幸雄	

の各氏

第3号議案 国際ロータリー加盟申請の件
・提案理由の説明 拡大補佐 高橋 修
原案通り 可決確定。

議長は全議事の可決確定により、

茲にめでたく

「東京多摩グリーンロータリークラブ」
の誕生を宣言した。

~~~~~

## ☆ 御 祝 辞

第275地区ガバナー 秋山 一



本日誠におめでたい新クラブの創立総会の議事が、由井特別代表議長のもとで新クラブの皆さんの採決が行われ、只今此処に新しく「東京多摩グリーンロータリークラブ」が誕生致しました事を心から祝福致します。

皆さんが今日に到達出来たのも、由井特別代表を中心にスポンサークラブ関係各位の大変なお骨折りによって出来る事が出来たのであり、皆さんに感謝致します。新クラブは私の任期中の第1番目のクラブですが、本来これは田邊前ガバナーの手懸けられた拡大であって、その後共松原拡大大力カウンセラーの御指導を賜って出来たクラブであり、お二人のガバナーに御礼を申し上げねばなりません。

新クラブは 275地区の中では第66番目のクラブです。今日から国際ロータリーの一員となられ、世界中のロータリアンと手を組んでロータリーの奉仕の理想に邁進して下さい。

スポンサークラブとの啐啄がうまくいってすがすがしい新クラブの誕生の姿に接し本当に嬉しいです。新田中会長を中心に、皆さんで勉強し努力し良いクラブを造って下さい。又、スポンサークラブの皆様には今後も色々とお面倒をみて下さるようお願い致します。地区もお手伝いをしますのて何なりと申し出て下さい。今ロータリーにも新しい波が押し寄せていますが、ロータリーの歴史を学びながら新しき世代に対処してゆく積りでありますので、御協力を御願ひ致します。

今後の皆様の成長を期待致します。

## ☆ 御 祝 辞

第275地区バストガバナー 松原 治



新クラブの皆様 創立誠におめでとう。

由井特別代表 初芝、高橋、篠塚拡大補佐スポンサークラブの石坂会長さん始め会員の皆さん、本当にご苦労様でした。ポールハリスの言葉に「ロータリーは適切な方式が考え出されたというだけで大きくなったのではない。それを拡大させようとする、たゆまぬ努力があったからこそロータリーは世界的に影響を持つようになった」と言ったように、1901年に出来て2年後には4000Kも離れた、汽車で往復しても1週間もかかるサンフランシスコに第2のRCを造っています。此うい努力が拡大こそ最大の奉仕と言われる所以です。RIに加盟申請され、認証されるとクラブが1本立ちした事になります。そして加盟御披露のチャーターを済ませると一体感が

得られるようになります。先ず始めは親睦を、次にロータリー情報を習得して早く50名位になって下さい。奉仕の中に楽しみを見出し、良きロータリーライフを体験して下さい。グリーンの名前のように明るいクラブを造って下さい。

## ☆ 御 祝 辞

第275地区直前ガバナー 田邊 賢三



議事が終わって創立誠におめでとう。

皆様はチャーターと言ひ会社で言うて発起人です。ですから皆様が良きクラブを造る事を考え実行するのです。多摩クラブはスポンサーです。昨年ガバナー訪問の時「創立後20年も経っている。4年目に稲城を造ったが、その後少々静かなようで、そろそろ街も大きくなつたし、拡大はどうでしょう」と申しあげました。篠塚会長さんは思慮の深い方で軽々に返事はなさらなかったが、私は深追ひはしませんでした。然し此の人は乞度やってくれと信じていました。そしたら4月になって「拡大をする事になった」と連絡を頂きました。特別代表には多摩クラブの初代幹事、後に会長、分区代理をなさった由井さんをお願いするのが最適と考えお願いしました。来年度は東分区から秋山ガバナーが出られた時でもあり、その中で拡大が出来た事は東分区の人達の喜びであり、おめでたい事です。日本では会員と言ひ、ロータリーではロータリアンと言ひます。皆様は自ら進んでロータリーの規約を承知して参加されたのですから、先ずロータリーの行事に参加する事から行動を始めて下さい。ロータリーバッチのロータリアンには世界中のロータリアンが手を差し伸べてくれます。手をとりあってロータリー

の道を歩んで下さい。

## ☆ 目 録 贈 呈

石坂文夫東京多摩ロータリークラブ会長より、田中 實新クラブ会長に手渡された。



## ☆ 新クラブ会長挨拶

東京多摩グリーンロータリークラブ  
会 長 田 中 實



本日、東京多摩グリーンロータリークラブ創立に当りまして初代会長には、諸先輩の中にふさわしいお方がおられると存じますが、因らずも私会長に選出されました。身にあまる光栄と深く感謝いたします。

もとより非才未熟の私でございます。この上は少なくとも将来におむかい、悔いのない基礎作りに情熱を燃やしたいと思います。

目指しますのは会員相互の理解と信頼による、格調ある楽しいロータリーです。どうか会員の皆様のご理解と強いご協力をお願い申し上げます。本クラブの設立につきましては、スポンサークラブの篠塚前会長の時期に、発足されて以来、由井特別代表を始めと致しまして石坂会長、高取拡大委員長並びに多くの役員、会員の皆様の並々ならぬご努力とお

骨折りにより、本日ここに多摩グリーンロータリークラブの誕生を迎えました。第275地区ガバナーの秋山様、地区役員の方々並びに近隣ロータリークラブの会長、幹事の方々の御来臨の下で発足することになりまして誠に有難うございました。そしてスポンサークラブの皆様のご厚意により私達の門出を祝う、このような晴れがましい創立総会を開催して戴きました。そのうえ、石坂会長より新しいクラブの象徴となる立派な品々をお祝いとして頂戴致しました。改めて新会員を代表致しまして心より厚く御礼申し上げます。また、残暑厳しくお忙しいなかを私達の創立を祝ってご臨席を戴きました、ご来賓の皆様には心暖まる励ましのお言葉など、お祝辞を頂戴致しまして誠に有難うございました。

私達の多摩グリーンロータリークラブの名称は、身近の心休まる植物の色で、平和、若さ、新鮮さを現す緑でございまして、これから目覚ましく発展する多摩市に於いて活躍するロータリークラブの名称に最もふさわしいと、外にも数多く有りました候補の中より満場一致の賛成により決まった名称でございます。これから私達会員は、この新しい名称の下で、素晴らしい価値あるロータリークラブを、より素晴らしくする為の努力を重ねたいと思います。まずチャーターナイトを成功させること、続いて幾つかのは業績を残す熱意を会員の皆さんに要請し共に頑張りたいと思います。

しかしロータリーの何たるかを、まだ充分理解しきれない私達でございます。今後ともスポンサークラブの方々、先輩クラブの皆様には、尚一層のご指導、ご鞭撻を切にお願い申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

#### ◇ 祝賀会（於第一会議室）

##### ☆ 開会のことば

拡大委員長 高取 渡

ただ今、御蔭様をもちまして創立総会が無事終了し、新クラブが目出度く誕生致しました。

御高承の通り、その名も「東京多摩グリーンロータリークラブ」と命名されました。私



にはこの「グリーン」と言う言葉は、清潔さと暖かさ、そして伸びゆく活力の響きが感じられます。その前途は洋々たるものがあると存じます。

私もスポンサークラブの拡大委員会の一人として、これ迄の経過をふりかえり、誠に感慨深いものがあります。

さてここに御来賓の方々をお迎えして、新クラブの前途を祝しての「祝賀の宴」をただ今より開催させていただきます。

どうか宜しくお願い申し上げます。

##### ☆ ご祝辞

275地区ガバナーノミニー 吉田 盛次



今日は、本当におめでとうございます。私共の仲間が力強く誕生して誠にご同慶の至りです。私は次年度秋山ガバナーの後を受けて、たまたま皆様の新しいクラブをお育てしなくてはならないので大変責任を感じています。

私も26年前にクラブに入りましたが、チャーターメンバーの意味が解らなくて困った事が思い出されます。勿論これは創立時のメンバーの事でクラブの基礎作りをする会員の事で、その人達の努力次第で、クラブの性格付けや命運迄が左右される事になるので、皆様

には後から入会した人は一目置く事になるわけです。その反面責任も思いのです。

周恩来の「井戸を掘った人の恩は忘れてはいけない」と言う言葉にもありますが、皆様は、今から多摩グリーンクラブの井戸をこれからお掘りになる、そして乞度良質の水を汲めるようになさるのですから大変です。然し皆様に「やる気」があれば、先輩クラブの方々に負けないクラブを造る事が可能でもあり、ロータリーの色々のきまりに精通する事も出来ると思います。折角ロータリーに入られてスリーピングメンバー等と言われるのなら、入会する意味はありません。是非「最も良く奉仕するものは、最も良く報われる」といわれますが、前向きに努力し、自分の限りある人生に意義を見出して欲しいと願います。皆々様の御発展を祈ります。

#### ☆ 乾杯

東京多摩東分区代理 添田 邦治



#### ☆ 新クラブ会員紹介

新クラブ会長 田中 實



〔手に手つないで～〕



〔ひろがれまわれ～〕

#### ☆ 閉会のことば

拡大副委員長 岡野 一馬



皆様の御協力を戴いて、本日の創立総会と祝賀会が滞りなく終わる事が出来ました。本当に有難うございました。スポンサークラブとしては、一寸肩の荷が降りた幹事です。

新クラブはグリーン。若葉マークです。

同じ地域の中で今後手を取り合って、奉仕の活動をして行きましょう。

本日は誠に有難うございました。